

平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	DNA型鑑定の実施		担当部局	刑事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度～		担当課室	犯罪鑑識官		犯罪鑑識官 森本 和明		
会計区分	一般会計		施策名	複数施策(1～7)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観的証拠となるものであり、犯罪捜査において不可欠な捜査手法となっているところ、近年における裁判員制度の導入、重要凶悪事件の公訴時効の廃止・延長といった刑事司法制度の大きな変革により、従来にも増して客観性の高い科学的証拠の収集・確保が重要となっていることを踏まえ、今後とも、重要犯罪、重要窃盗犯のみならず、あらゆる犯罪の捜査において、その積極的な活用を図り、より客観的証拠に依拠した犯罪捜査の科学化を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	刑事司法においては、客観的証拠が一層重視され、特にDNA型鑑定は、刑事裁判において高い証拠価値を認められている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。そこで、今後とも、増加する鑑定需要に適切に対応して鑑定結果を犯罪捜査に迅速・的確に反映させるとともに、DNA型鑑定の証拠価値を損なうことのないよう、その信頼性や精度を確保するため、鑑定基盤の更なる整備強化を図るものである。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,182	1,846	2,052	2,061	2,082	
		補正予算	893	0	0	0		
		繰越し等	643	643	0	0		
		計	1,432	2,489	2,052	2,061	2,082	
	執行額	1,117	2,398	1,908				
執行率(%)	78%	96%	93%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年	22年	23年	目標値 (年度)
	(成果目標) DNA型鑑定の活用による科学捜査の推進 (参考指標) DNA型データベースの活用件数(事件数)	成果実績	件		3,291	3,638	4,942	-
		達成度	%		-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年	22年	23年	24年度活動見込
	DNA型鑑定資料数	活動実績 (当初見込み)	資料		166,926	177,598	197,009	
					(-)	(-)	(-)	
単位当たり コスト	9,685円(1,908百万円/197,009資料)		算出根拠	DNA型鑑定資料1件当たり執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	物品購入費等	2,061	2,082	DNA型鑑定資機材の保守を行うため予算額が増になったもの。				
	計	2,061	2,082					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	刑事司法においては、客観的証拠が一層重視され、特にDNA型鑑定は、刑事裁判において高い証拠価値を認められている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本経費については、都道府県警察に予算配賦し、DNA型鑑定に必要な経費として支出しており、都道府県警察から執行状況の報告を受けている。 また、都道府県警察においては、過去の調達実績の反映や、より競争性を高める調達方法への見直しなどを行った上で、複数応札者の確保に努めつつ、一般競争入札により調達を行っている。 ただ、都道府県警察ごとの調達となっており、コスト面での課題がある。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本経費は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型データベースの拡充及びその更なる積極的活用により、被疑者の迅速な特定や余罪の割出しに大きな効果を発揮している。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		1 支出先・使途の把握水準・状況 都道府県警察に予算配賦している経費については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。	
		2 見直しの余地 本経費は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型鑑定の重要性や犯罪情勢を勘案し、適正な予算積算に努めているところであり、今後も引き続き実施する。 契約に際しては、都道府県警察において、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める調達方法への見直しを図るなどした上で一般競争入札を実施することとしているが、都道府県警察ごとの調達に関し、コスト削減という観点から見直す余地がないかや、現在指定されている試薬以外の試薬の使用も認めることができないかについて、検討を進める。	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
		2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 現在の都道府県ごとの検査試薬の調達について、全国の一定地域ごとにまとめて契約するよう見直すなど、コスト削減方を検討すべきである。	
		3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善		上記所見を踏まえ、現在は都道府県警察ごととなっている検査試薬の調達方法を警察庁において一括調達契約(中央調達)等に変更するなど、見直しを検討することとしている。平成24年度においては、既に各都道府県警察において一般競争入札による年間契約を締結し、検査試薬を調達しているところであるが、同年度中に一括調達契約等に変更するなどの見直しに係る検討を進め、その成果を平成25年度予算の執行段階から随時反映できるように取り組んでいく。	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成24年公開プロセス対象事業(判定結果:一部改善)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	当初17-2、補正11-1	平成23年行政事業レビュー	65

警察庁
1,908百万円

〔都道府県警察にDNA型鑑定に要する予算を配賦〕



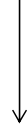
【予算配賦】

A.都道府県警察

大阪府警察
168百万円

都道府県警察
(46機関)
1,740百万円

〔DNA型鑑定に必要な物品の購入及び資機材の修繕を執行〕



<物品購入等>

【一般競争入札・随意契約(少額)】

B.民間会社(13者)
168百万円

〔物品等の納入及び役務を提供〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.大阪府警察			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	DNA型鑑定に要する経費	168			
計		168	計		0
B.株式会社アズバイオ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	ヒトゲノム定量キット 外の購入等	143			
計		143	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

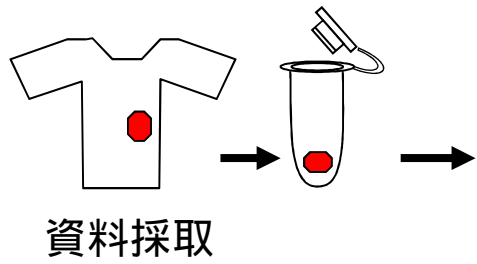
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府警察	予算配賦	168		
2	愛知県警察	予算配賦	116		
3	兵庫県警察	予算配賦	97		
4	福岡県警察	予算配賦	93		
5	神奈川県警察	予算配賦	88		
6	警視庁	予算配賦	85		
7	埼玉県警察	予算配賦	77		
8	京都府警察	予算配賦	55		
9	群馬県警察	予算配賦	53		
10	千葉県警察	予算配賦	53		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社アズバイオ	ヒトゲノム定量キット 外の購入等	143		
(内訳)		ヒトゲノムDNA定量キット 外	114	3	
(内訳)		Hi-Di Formamide 外	12	3	
(内訳)		Hi-Di Formamide 外	7	3	
(内訳)		Hi-Di Formamide 外	6	3	
(内訳)		DNA型鑑定用装置修理	1	随意契約	
2	株式会社早川衡器	はさみ 外の購入等	3		
(内訳)		はさみ 外	1	4	
3	ダイトク商事	トナーカートリッジ 外の購入	1	3	
4	八洲薬品株式会社	エタノール 外の購入等	1		
(内訳)		エタノール 外	0.5	3	
5	株式会社関薬	サージスクリーン 外の購入	0.6	随意契約	
6	株式会社ティエフビー	セラミックPSAセミアント	0.3	随意契約	
7	アクセスコンピュータシステム株式会社	インクカートリッジ 外の購入等	0.2		
(内訳)		インクカートリッジ 外	0.07	3	
8	株式会社ユニコム	RISD - Urine 外の購入	0.2	随意契約	
9	有限会社フタバ事務	替台紙 外の購入	0.1	随意契約	
10	中倉産業株式会社	改ざん防止ラベルの購入	0.1	随意契約	

警察におけるDNA型鑑定方法

鑑定準備

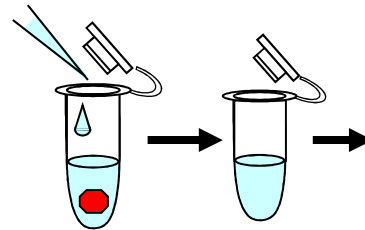


DNA抽出装置

DNA抽出



DNA抽出キット



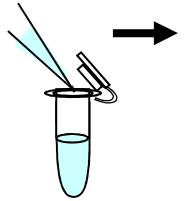
DNA抽出溶液

DNA定量



DNA定量装置

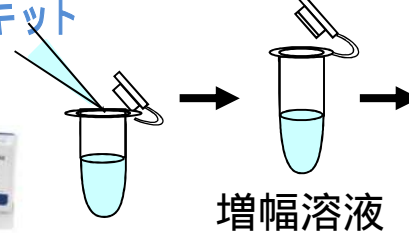
DNA定量キット



鑑定に必要な座位の増幅



マルチローカスキット



増幅溶液

DNA型解析

解析試薬



フラグメントアナライザー

DNA型判定



データ解析装置



DNA型鑑定書

座位	被疑者資料のDNA型
D8S1179	8, 12
D21S11	23, 29
D7S820	11, 12
CSF1PO	10, 12
D3S1358	15, 16
TH01	7, 9
D13S317	10, 14
D16S539	8, 13
D2S1338	19, 20
D19S433	13, 15
vWA	17, 18
TPOX	8, 11
D18S51	9, 17
D8S818	11, 12
FGA	22, 23
Y-DP-CO	XY